

委員コメント一覧表

I 全体評価

1 総評

- ① 良好である。
- ② 各課題ごとに積極的に取り組みを行い、計画を上回る実績を上げている。
- ③ 概ね良好との大学評価のとおり
- ④ 全体として、中期目標を達成していると認められる。
- ⑤ 第1期中期目標においては、総じてアウトプットを評価する内容が多かったが、次期中期目標期間においてはよりアウトカムを求められることになると思われるので、事業の成果を重視した取り組みを期待したい。

2 業務の実施状況

- ① 十分評価できる。
- ② 項目別評価記載のとおり。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

なし

項目別評価

1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 各課題ごとに積極的に取り組みを行い、計画を上回る実績を上げている。（再掲）</p> <p>③ オープンキャンパス等の取り組みについても、様々な手法でアピールを行っており、参加者拡大に繋がっていると認める。</p> <p>④ 就職率も年々改善してきているが、全国的に数値は改善傾向にあることから、単純に量のみでの評価でなく、内容についても分析を行うとともに、継続的な追跡により定着度、満足度の分析とそれに対するキャリア支援の強化を要望。</p> <p>⑤ 就職支援、インターンシップなど将来の進路に関わる施策が充実している。</p> <p>⑥ 教育改善の取組として、学生の授業評価のフィードバックシステムの導入やFDの充実による教員の意識改革により、授業の改善が図られている。</p> <p>⑦ 成績不良者への再チャンスを与えるための再入学制度とリンクさせた退学勧告制度が機能している。</p> <p>⑧ インターンシップ制度の充実、キャリア教育の導入、資格取得支援など就職支援対策が手厚く行われている。</p> <p>⑨ 国際交流に関する方針等に基づき、新たな留学先を選定。試行するなど国際交流に関する環境整備が着実に進んでいるなど、全体的な取組みは、中期目標を達成していると認められる。</p>			

2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 公開講座の回数、参加者は増加傾向にあるが、特に人気のある外国語講座等の定員数、回数の増加について検討をお願いします。</p> <p>③ 研究活動推進のための戦略的研究助成事業の創設により教員の研究活動を推進するとともに、産学官金連携による研究推進のための地域研究センターの充実、研究成果の公開などの取組に加え、学生の研究活動参加を推進するための参加体制の改善を図るなど、研究体制の充実に努めてきており、中期目標を達成していると認められる。</p>			

3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 地域や企業との連携が計画以上の効果を上げた。</p> <p>③ 先行き人口減少、特に若年層の減少が進む中で大学・学生の取組への期待は一段と大きくなるものと思料する。</p> <p>④ 総合的な地域貢献を推進する観点から地域連携センターを設置し、教職員が柔軟に地域貢献活動を行えるよう兼業規程を制定するなど環境整備を行い、企業・NPO、大学、県、青森市ほかの自治体等との連携による取組の拡大を図るとともに、学生の積極的な参加を促すなど大学を挙げて取り組んでおり、中期目標を達成していると認められる。</p>			

4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 大学、法人の運営改善等全体的な課題に対応するため、理事長、部局長で構成する戦略会議を設置するとともに、雇用、評価、報酬等人事ルールの見直しや、事務職員のプロパー化を計画的に実施し人事体制の適正化を図ってきている。また、給与計算業務を外部委託するなど事務の効率化を図っている。</p> <p>③ インターネットやマスコミを利用したタイムリーな情報発信に努め、大学の「見える化」に取り組んでいるなど、中期目標を達成していると認められる。</p>			

5	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 財務委員会を設置し、戦略的かつ柔軟な予算編成、執行体制を整えるとともに、収入増確保対策として、県内外の高校訪問の拡大や、オープンキャンパスでの模擬講義受講者に対する入学検定料の減免制度を実施したほか、教員住宅入居料の見直し、寄付金の受け入れ体制の整備、科学研究費補助金、青森市学術文化振興財団助成金獲得のための情報提供、申請手続きの窓口一本化を図った。</p> <p>③ 経費削減策として、大学と国際芸術センターの業務委託の一本化や情報システムの更新による事務処理の効率化、迅速化を図っており、中期目標を達成していると認められる。</p>			

6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 自己評価委員会を設置し、外部認証評価についての協議や教員の自己評価の審議を行うとともに、業務実績報告の自己点検、自己評価でC,D評価となった項目についてはPDCAサイクルに基づき、改善策について学内会議で検討を行い、中長期にわたる改善策については、次期中期計画に反映させるなど、組織的な対応を継続的に行ってきており、中期目標を達成していると認められる。</p>			

7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 設備の整備・活用、防災、教職員・学生の健康管理等適切に実施されており、中期目標を達成していると認められる。</p>			